

アンビアン

合同展示会も前倒し “バイヤーの滞在時間が長くなる”



仲亀麻子/アンビ
アンス ディレクター

ファッションの合同展示会のアンビアン
スは9月12～14日、2018年春夏シーズンの
展示会を従来の開催時期よりも約1カ月
半前倒し、東京・渋谷の文化ファッション
インキュベーションで実施した。今季は
東京のデザイナーズブランドを中心に25
ブランドが参加。結果としてバイヤーの

滞在時間が長くなった他、全体の7割のブランドが新規の取
り組みを決め、多いブランドでは4社以上から新規オーダー
が決定した。従来は合同展会期中にピックアップだけとい
うバイヤーがほとんどだが、今季に関しては、直接その場で
オーダーを受けることも増えたという。

アンビアンはデザイナーとバイヤーのマッチングを重視
し、アポイント制でバイヤーを集客する。ルック撮影のアド
バイスやポップアップストアの企画なども行い、面倒見のい
い展示会として周知されている。主催者の仲亀麻子ディレ
クターは数シーズン前から前倒しを検討してきたという。「東
京ファッション・ウィーク開催時期では受注が間に合わず、ブ



ランドがバイヤーに興味を
持ってもらっても買い付け
につながらないこともあっ
た」と話す。そのため今季は継続して同展に参加している
「ヴェントリロクイスト」や仲亀ディレクターがセールスを担当
する「タージュ」「アディクト ノア」などのブランドと一緒に発
表時期の早期化を図った。また今季は初めて、韓国のショー
ルームのルドームが参加し、ソウル・ファッションウィークで
も発表する地元の4ブランドが出展した。今後も海外ブラン
ドや企業とのコラボレーションを強化していく方針だ。